

2018年度 帰国隊員/青年支援プロジェクト 実施報告書		提出日 2019年 7月 15日
氏名：國谷 昇平	実施国：タイ	協力活動
活動名称	タイ国 ポータラーム郡における寝たきりゼロ事業	
実施期間	2018年9月～2019年6月	
(1) 申請した動機		
<p>私は2015年7月から2017年6月まで青年海外協力隊員として、2年間タイに派遣されており、ラーチャブリー県ポータラーム郡に高齢者支援の活動を行っていた。具体的には作業療法士という職種で、地域コミュニティに出向いて運動の指導をおこなっており、その集大成としてタイではまだほとんどない高齢者向けのデイケアセンターを設立することができた。しかし、そのセンターができたのは帰国直前ということもあり、支援が足りていない部分もあり、帰国後も継続して支援ができないと考えていた。同時に自身でアジアの高齢者に対して支援を行うNPO法人「Rehab-Care for ASIA」を立ち上げて、タイだけでなく、ミャンマー、マレーシア、インドネシアでの支援を行っていた。タイの場合は2018-2019年は毎月タイ渡航をすることが決まっており、活動を継続する上で資金が必要になったため、「帰国隊員/青年支援プロジェクト」を申請することとなった。</p>		
(2) 活動内容概要		
<p>実施期間には、毎月タイ渡航を行っており、現地で4-5日間ほど滞在していた。2018年5月にタイの現地側とNPO法人とでMOU(了解覚書)を結んでおり、内容として今回のポータラーム郡内の高齢者の寝たきりを減らすために以下の活動を中心に行うことが決まっていた。実施した内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ポータラーム郡内にデイケアセンターを増やす手伝いをする 新規デイケアセンターを作ることを提案する 新規立ち上げの際の具体的な支援(どのくらいの頻度でどんな内容にするか) ② ポータラームデイケアセンターのリハビリに関する指導をおこなうこと ③ 地域の研修会の指導者をおこなうこと ④ 訪問看護に同行し、リハビリの助言をおこなうこと <p>以上、渡航時に上記内容について現地スタッフとの打ち合わせを行い、内容の実施をした。</p>		
(3) 活動の成果・苦労した点・反省点等		
<p>【活動の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規デイケアセンターは2018年から2019年にかけて合計3つ作ることができた ・デイケアセンターがタイのテレビ局で取り上げられて、地域で注目を浴びることとなった ・ラーチャブリー県主催の研修会に呼んでもらい、デイケアの重要性を話した ・デイケアセンター内での研修会「栄養」「運動」「公衆衛生」などを実施した <p>【苦労した点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に5日ほどしかいないため、その中で上記4つを実施するのに現地側との打ち合わせ準備が非常に少なく、日本にいるときにメッセージのやりとりで準備を進めなければならなかったこと。 <p>【反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイケアの新規立ち上げの際に、現地スタッフと私とでどんな役割を分担するか、早めに決めるべきであったこと。 		
(4) 今後のプラン		
<p>帰国隊員/青年支援プロジェクトで支援いただいたおかげで、この1年間は大きく活動を変化することができた。特に途中では、日本のタイ大使館にお声かけいただき発表する機会をもらったり、またタイのテレビで取り上げてもらうこともできた。今後はこのポータラーム郡内の活動を、タイ全土に広めること、また同時に現在活動地域であるタイだけでなく、ミャンマー、マレーシア、インドネシアにも同様の内容を広げていけるようにしていくことが今後の活動予定である。</p> <p>具体的には、今年度中にタイ政府に対してのNGO登録を行い、この活動を正式に認めてもらい、現地スタッフとともに広報活動を行っていく予定である。</p>		